

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年02月20日

計画の名称	川西市域における流域一体となった総合的な汚水・浸水対策の推進(2)													
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	川西市													
計画の目標	下水道未普及地域の解消及び浸水対策による水害に強いまちづくりにより、市民の快適で安心安全な生活の確保を図る。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		147	A	147	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	下水道未普及人口の低減 未普及開始人口を平成28年度当初の677人から最終目標年度には581人まで減少させる。	677人	629人	581人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	川西市	直接	-		管渠(汚水)	新設	未普及解消下水道事業(管渠)	整備面積 = 34.4ha	川西市						147	-	
												小計						147		
												合計						147		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
川西市上下水道局の下水道事業担当部署により、事業実施状況・指標の達成状況の確認および評価を実施。	令和5年2月
	公表の方法
	事後評価後、川西市上下水道局ホームページにて公表する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	汚水管渠を整備することにより定量的指標で掲げている未普及開始人口が減少し、良好な生活環境の促進を図ることができる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き下水道未普及地区の汚水整備を促進し、生活環境の改善に取り組んでいく。	

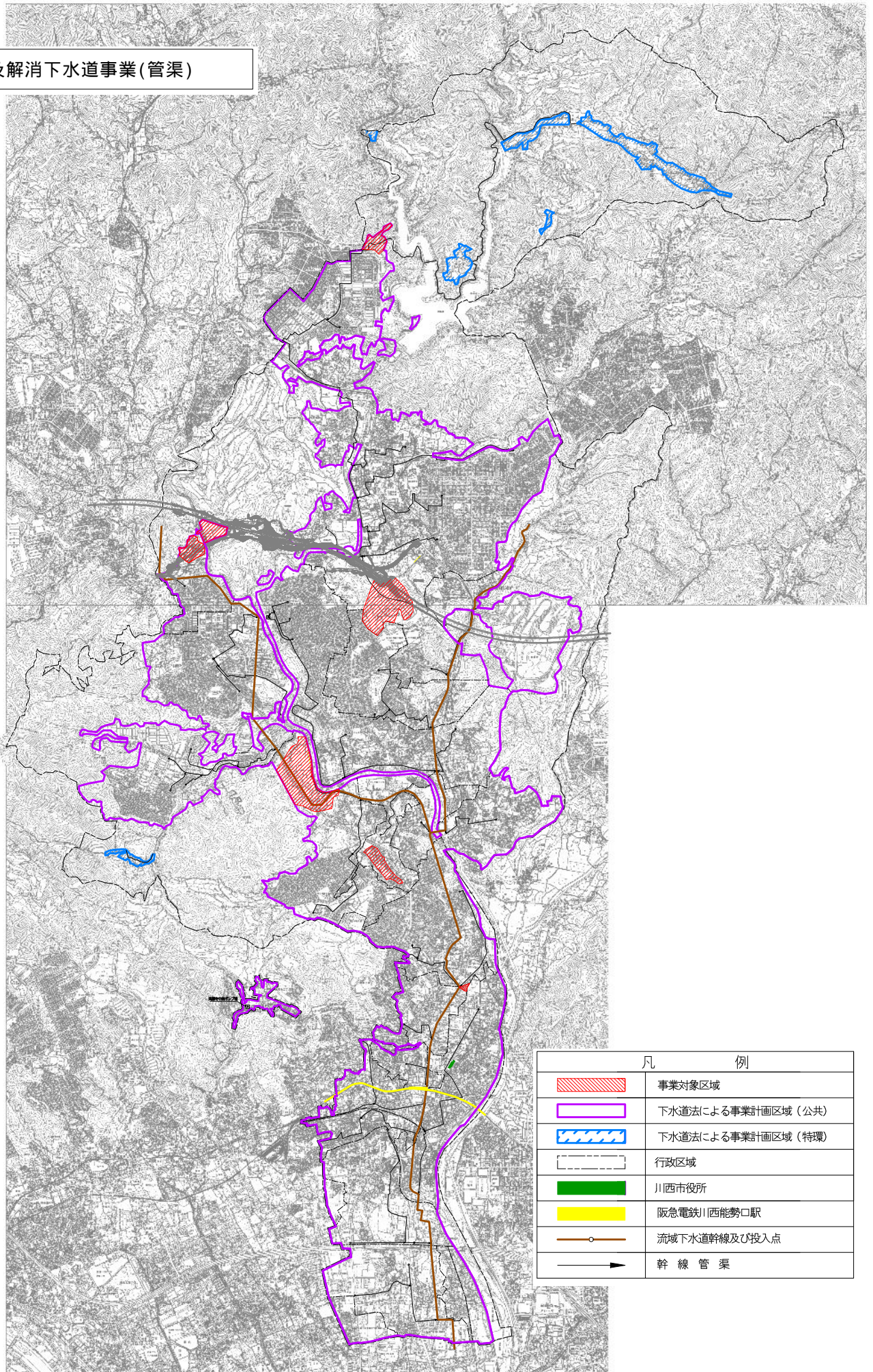




[参考図面] 水の安全・安心基盤整備 (汚水)

計画の名称	1 川西市域における流域一体となった総合的な汚水・浸水対策の推進(2) (第1回変更)		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度(5年間)	交付対象	川西市

A7-1 未普及解消下水道事業(管渠)



凡 例	
	事業対象区域
	下水道法による事業計画区域 (公共)
	下水道法による事業計画区域 (特環)
	行政区域
	川西市役所
	阪急電鉄川西能勢口駅
	流域下水道幹線及び投入点
	幹線管渠